Produced to assure your safety.

CellSTAR® ASSURA

リモコン付き セパレート型GPSレーダー探知機

12V/24V車に両対応

AR-240SE

取扱説明書

micro SD

ご購入のお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
尚、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。速度の出し過ぎに注意して走行してください。
また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害※の発生の可能性が想定される」内容です。 ※物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この表示は、必ず実行していただく**「強制」**の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。

この表示は、してはいけない**「禁止」**の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。

この表示は、気をつけていただきたい**「注意」**の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

⚠ 危 険

本製品はDC12V/24V兼用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。

走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください。
※交通事故の原因となります。

万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
※発火して火災の原因となります。

水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手では絶対に操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 警 告

運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。
※誤った取り付けは交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。
※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
※感電やショートによる発火の原因となります。

本製品は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。
※発熱、火災、ケガの原因となります。

ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注 意

穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因になります。

本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

夏の炎天下、真冬の駐車の際は本製品を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形、「ELディスプレイ」の表示不良などをまねく原因となります。

一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。

本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

microSDカードの挿入、取り外しをするときは、microSDカードスロットに顔を向けないでください。
※ケガの原因となります。

もくじ

はじめに 2
- 安全上の注意 2
- もくじ 3
- 使用上の注意 4
- 同梱品の確認 6
- 各部の名称と機能 7

本製品の設置 9
- 本製品の取り付け方法 9
  - 電源の取り方 9
  - 取り付け手順 ①：GPS アンテナの取り付け .. 11
  - 取り付け手順 ②：本体の取り付け 12
  - 取り付け手順 ③：配線処理 14
  - アンテナコードの取り外し方 14
- リモコンの取り付け方法 15
- microSD カードの使用方法 16

本製品の起動 17
- 電源を入れる 17
- 電源を切る 17

EL ディスプレイの説明 18
- EL ディスプレイの見方 18
- GPS 警告動作例 19
- GPS 警告時のディスプレイ表示 20
- 各種無線警告時のディスプレイ表示 22
- レーダー波警告時のディスプレイ表示 ... 24

各種機能の設定 26
- 各種機能の設定一覧 26
- EL ディスプレイ表示の設定 28
- 音量の調整 30
- ミュート機能 31
- BEST セレクト機能 31
- エグゼクティブモード 33

各種機能の説明 33
- L.S.C. 機能の動作 33
- レーダー波受信感度オートの動作 34
- オートトーンダウン機能 34
- タイムディマー機能 34
- レシーバーオートミュート機能 34
- GPS 測位について 35

便利な機能 36
- スキップ機能 36
- ユーザーメモリー機能 37
- GPS 警告ポイント消去機能 38
- レーダーキャンセルメモリー機能 39
- 通過速度履歴確認機能 40
- 1 キロ圏内サーチ機能 40
- デモンストレーション 41
- 飲酒運転警告案内 41
- 緊急車両データベース 42
- 本製品の全リセット 42

故障かな？と思ったら 44

アフターサービスについて 46
- 保証書について 46
- 修理を依頼されるとき 46
- 個人情報に関して 46
- データ更新について 46
- リモコンの紛失について 46
- 新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い ... 47
- 各地域のお客様相談窓口一覧 47

仕様・定格 48

AR-240SE の 3 つの便利な機能

Eos. イオス：Effective Operation System

心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させる新システムを採用。GPS 情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。
走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

P-Can. 不要警告音キャンセル ピー・キャン

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要のなくなった GPS 警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

BEST ベストセレクト機能

新発想の“BEST ボタン”をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（全ての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード 1（初期設定が高速道向け）」「マニュアルモード 2（初期設定が一般道向け）」の 4 つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

使用上の注意

■ 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。

■ 運転中に画面を長く注視しないようにしてください。

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。交通事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に停止させておこなってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最小限としてください。

■ 本製品は、GPS 測位状態で登録・記録済みデータを基に、またはレーダー波、無線電波を受信することで警告動作をおこないます。GPS 測位していない状態、登録・記録されていない地点、または各種受信ができない状態では警告動作をおこなうことができません。

■ 一部の車種において付属の DC コードが、お車のシガーライターソケットの形状に合わない場合があります。

■ 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品が GPS 測位をできなくなることがあります。これは故障や不良ではありません。

■ 本製品は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC など）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合や GPS を含む各種無線が受信できなくなる場合があります。

また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔を取って設置してください。

■ 光電管を使用した有人式の速度取締りがおこなわれている場合、その取締りに対して警告することができません。あらかじめご了承ください。

熱反射ガラスについて

● 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いため GPS 信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両ディーラーやメーカーへお問い合わせください。

GPS 警告について

● GPS 警告ポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対する GPS 警告ができない場合があります。また、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

事故多発エリアについて

● 警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期、またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。

● 首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

警察署／交通警察隊について

● 移転、新設などがあった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

急カーブについて

● 本製品でお知らせする急カーブは、当社独自の調査により、登録しているものです。

したがって、急カーブであると思われる場所であっても、お知らせしない場合などがあります。

駐車禁止エリアについて

● 本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。

しがたって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。

取締りポイントについて

● 取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて、本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りがおこなわれていることに対しての警告ではありません。また警告の前後で取締りをおこなっている場合もあります。あらかじめご了承ください。

緊急車両データベースについて

● 本機能は自動的に緊急車両を認識したり、走行している緊急車両を探知する機能ではありません。

制限速度について

● 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応しておりません。また、普通自動車に対する制限速度をお知らせします。

● 制限速度切り替わりポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。また、ピンポイントでお知らせするものではありません。

無線受信機能について

● 受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用することは、電波法第五十九条により禁じられています。

● 受信電波がデジタル通信の場合は、音声を聞くことができません。

● 受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。

● 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信できない場合があります。

● 各種無線は常に使用されていません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。

● ヘリテレ無線の受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波です。

● ヘリテレ無線の無線中継所付近では、ヘリコプターの接近にかかわらず、受信する場合があります。

● カーロケーターシステムは全ての警察関係車両に搭載されていません。また、搭載されていても常時電波を発信していません。

● レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または、頻繁に受信する場合があります。

● 本製品は一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのためそれ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。

● 署活系無線はチャンネル数が多く使用頻度も高いため、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

レーダー波受信機能について

- 一部の自動ドアなど、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本製品でレーダー警告をおこなうことがありますが、これは故障ではありません。
- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

「EL ディスプレイ」について

- 「EL ディスプレイ」で長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け※」が発生する可能性があります。これらは「EL ディスプレイ」の特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。

  （※焼き付けは完全に消すことはできません）

  スクリーンセーバーを使用したり「EL ディスプレイ」の明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。

  本現象の「EL ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- 「EL ディスプレイ」の中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。

  これらは「EL ディスプレイ」の特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。

  本現象の「EL ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- 「EL ディスプレイ」を太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。

  お車に設置する際には、ご注意ください。

microSD カードについて

- microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- その他、本書で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

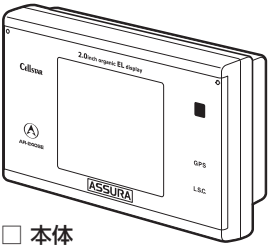
  なお本書では、TM、® マークは一部明記していません。
- 本製品は、使用の誤り、静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。

  microSD カードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお薦めします。

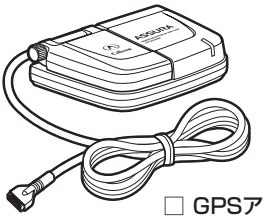
  なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

同梱品の確認

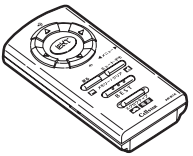
はじめに、同梱物の確認をおこなってください。



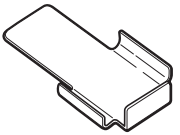
□ 本体



□ GPSアンテナ

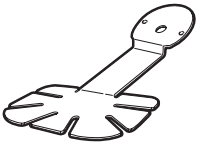


□ リモコン



□ リモコンホルダー

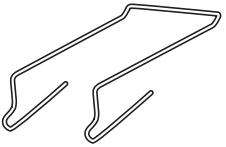
□ リモコンホルダー
取り付け用
両面テープ



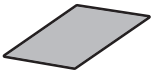
□ 本体用マウントベース

□ 本体用マウントベース
取り付け両面テープ

□ 本体用マウントベース
取り付けネジ



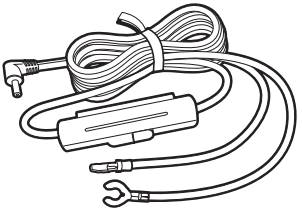
□ サンバイザークリップ



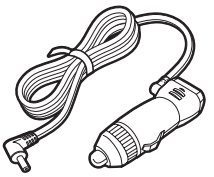
□ サンバイザー
保護シール

□ アンテナ取り付け用
固定テープ

□ コードクリップ×5



□ 直結配線用DCコード



□ シガーライター用
スイッチ付きDCコード

□ リモコン用電池
（リモコン使用前に
装着する必要があります。）
【参照 リモコン用電池の
装着方法（☛15ページ）】

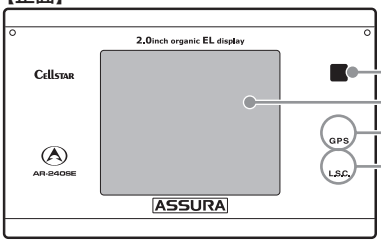
□ 取扱説明書（本書）

□ 保証書

※その他注意書きが同梱している
場合があります。

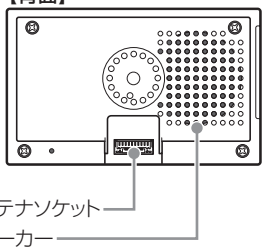
各部の名称と機能

【正面】



①赤外線受光部
②ELディスプレイ
③GPSランプ
④L.S.C.ランプ

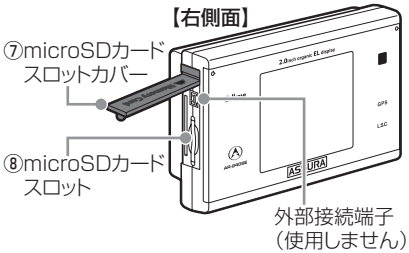
【背面】



⑤アンテナソケット
⑥スピーカー

○本体部の名称と機能

【右側面】



⑦microSDカードスロットカバー
⑧microSDカードスロット
外部接続端子（使用しません）

① **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。

② **EL ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS 警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。
また、マニュアルモードなどで各種設定内容を表示します。

③ **GPS ランプ（青色）**
GPS の測位状態を表示します。

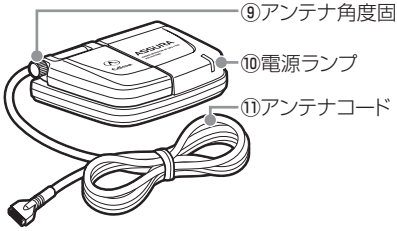
④ **L.S.C. ランプ（緑・赤・橙色）**
電源の ON/OFF 状態や、L.S.C. 機能の動作状況を表示します。
また、設定メニューで「ファイル読み込み」を選択した場合は、microSD カードのアクセス状態を表示します。（読み込み時：緑色／書き込み時：赤色）

⑤ **アンテナソケット**
アンテナコードを接続します。

⑥ **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。

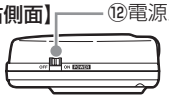
⑦ **microSD カードスロットカバー**
microSD カードの挿入時／排出時に開けます。

⑧ **microSD カードスロット**
待ち受け画面を追加したり、本製品内蔵の画像／音声を差し替える際に使用する microSD カードを挿入します。



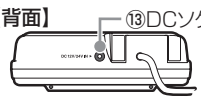
⑨アンテナ角度固定ネジ
⑩電源ランプ
⑪アンテナコード

【右側面】



⑫電源スイッチ

【背面】



⑬DCソケット

○アンテナ部の名称と機能

⑨ **アンテナ角度固定ネジ**
アンテナの開閉で使用します。

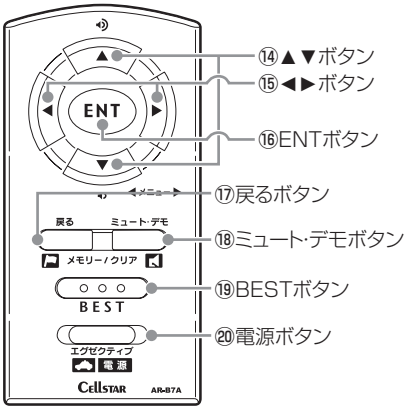
⑩ **電源ランプ（赤色）**
本製品の電源が ON のときに点灯します。

⑪ **アンテナコード**
本体のアンテナソケットに接続します。

⑫ **電源スイッチ**
電源の ON/OFF をします。

⑬ **DC ソケット**
DC コードを接続し、DC12V/24V を本製品に入力します。

各部の名称と機能（つづき）



○リモコン部の名称と機能

⑭ ▲▼ ボタン
音量を調整するときに使用します。
また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。

⑮ ◀▶ ボタン
設定メニューの選択時に使用します。

⑯ ENT ボタン
設定操作の決定や、通過速度の確認、1 キロ圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。

⑰ 戻るボタン
ユーザーメモリー機能や GPS 警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。
また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。

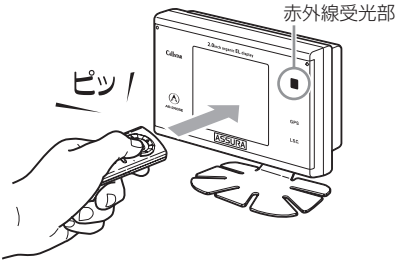
⑱ ミュート・デモボタン
ミュート機能、デモンストレーション、スキップメモリー、レーダーキャンセルメモリーなどの設定をするときに使用します。

⑲ BEST ボタン
BEST セレクト機能の切り替えや設定チェックをするときなどに使用します。

⑳ 電源ボタン
本体の電源を ON/OFF します。
またエグゼクティブモードを切り替えるときや緊急車両データベースを参照するときに使用します。

○リモコンの操作方法

リモコンを右図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。



⚠ 注意

- リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。
  紛失しないよう、十分ご注意ください。
- 本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。
  これは本製品の製品不良や故障ではありません。
  あらかじめご了承ください。

本製品の取り付け方法

⚠ 取り付け上の注意

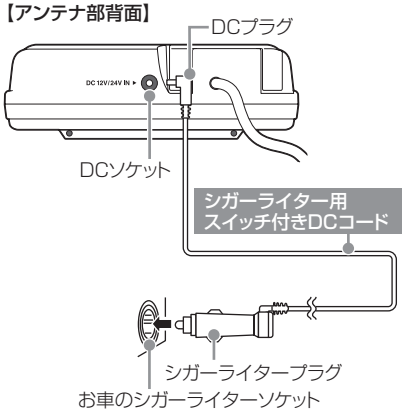
- 本製品は、12V または 24V 車に使用することができます。
- 本機の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでのお取り付けをお薦めします。
- お車のフロントガラスが熱反射ガラスで電波を通さない仕様の場合、アンテナをフロントガラスの上部など電波を通す限られた場所に取り付ける必要があります。詳しくは販売店、カーディーラーなどでご確認ください。
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能 (ハンドル、ブレーキなど) の妨げにならないように注意し確実に行なってください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- 本体の取り付け場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- DC コードやアンテナコードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- 直結配線用 DC コードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの (−) マイナス端子を外して作業を行ってください。
- 直結配線用 DC コードでの配線の場合には、確実にお車のボディにアース接続してください。
- シガーライター用スイッチ付き DC コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

電源の取り方

○シガーライターから電源を取る場合

シガーライター用スイッチ付き DC コードのプラグを、お車のシガーライターソケットに接続してください。

【アンテナ部背面】



⚠ 注意

一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付き DC コードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。

本製品の取り付け方法（つづき）

○ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取り出しコード（平型ヒューズタイプ）をご使用いただくことで、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

① ACC ON/OFF に連動するヒューズボックス内のヒューズ（シガーライター、ラジオなど）を探します。

② 直接配線用 DC コードと電源取り出しコードを接続します。

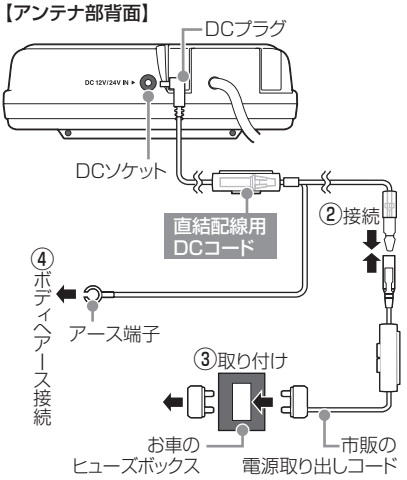
③ ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取り出しコードをバッテリー側に差し込みます。

④ 直接配線用 DC コードのアース端子をお車のボディに接続します。

⚠ 注意

ヒューズボックスから電源を取る場合は、ショート事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してください。

【アンテナ部背面】



⚠ 注意

エンジンをかけて本製品の電源が ON にならない場合は、以下の点を点検してください。

- 本体の電源スイッチ
- コード類の接続
- お車、または直接配線用 DC コード内のヒューズ

○お車の ACC 線から直接電源を取る場合

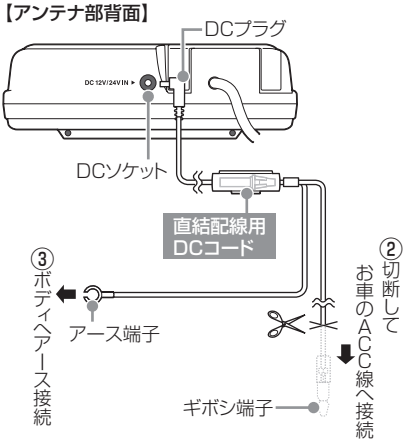
市販のエレクトロタップなどをご使用いただくことでお車の ACC 線から直接電源を取ることができます。

① テスターなどで、お車のキーを ACC ON にしたときに 12V/24V、OFF にしたときに 0V になる ACC 線を探します。

② 直結配線用 DC コードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用してお車の ACC 線へ接続します。

③ 直結配線用 DC コードのアース端子をお車のボディに接続します。

【アンテナ部背面】



⚠ アース端子接続の注意

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

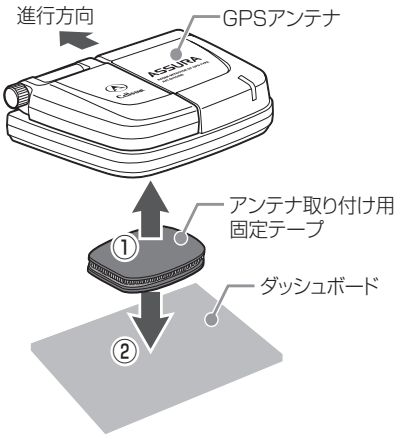
- アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピンネジなど）
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

取り付け手順 ①：GPS アンテナの取り付け

○ダッシュボードへの取り付け

① GPS アンテナにアンテナ取り付け用両面テープを貼り付けます。

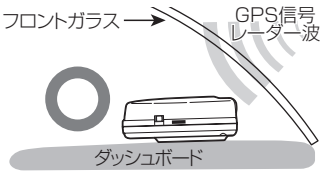
② ダッシュボードに GPS アンテナを取り付けます。

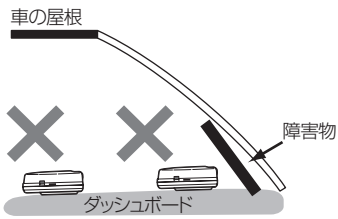


設 置 例

⚠ 注意

- 本製品は上空からの GPS 信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。
  そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。



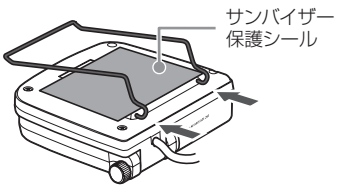


- 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いため GPS 信号やレーダー波の受信がしにくい場合やできない場合があります。
  熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

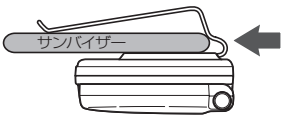
○サンバイザーへの取り付け

① GPS アンテナの裏面にサンバイザー保護シールを貼り付けます。

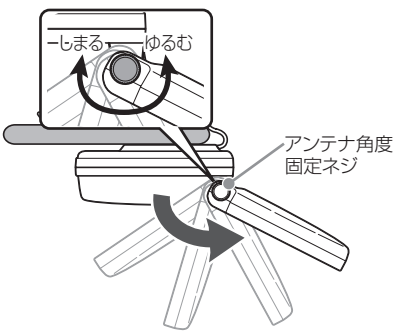
② サンバイザークリップを GPS アンテナの差し込み口に差し込みます。



③ サンバイザークリップをサンバイザーに挟み込んで取り付けます。



④ アンテナ角度固定ネジを十分にゆるめて、アンテナを開きます。
※ ネジを締めたまま開くと、本製品の破損を招きます。十分にご注意ください。



⑤ アンテナの角度が決まったら、アンテナ角度固定ネジをしっかりと締めます。

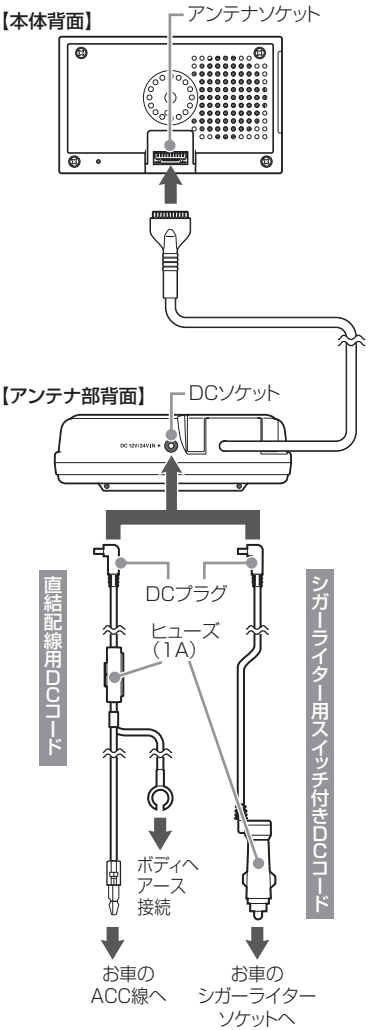
⚠ 注意

サンバイザー表面の材質によっては、サンバイザーの表面に本体の取り付け跡や色移りなどを招く場合があります。サンバイザーへ取り付ける場合には必ずサンバイザー保護シールを使用してください。

取り付け手順 ②：本体の取り付け

○本体／ GPS アンテナ／ DC コードの接続

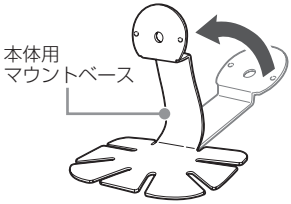
本体背面に GPS アンテナ、アンテナ部背面に DC コードを接続します。



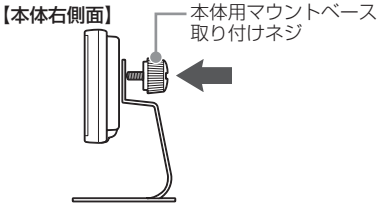
本製品の取り付け方法（つづき）

○ダッシュボードへの取り付け

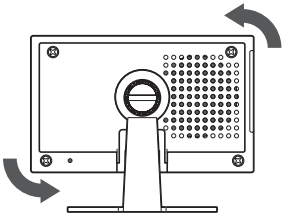
① 本体用マウントベースを曲げて起こします。



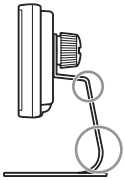
② 本体背面の凹部に本体用マウントベースをはめ込み、本体用マウントベース取り付けネジを差し込みます。



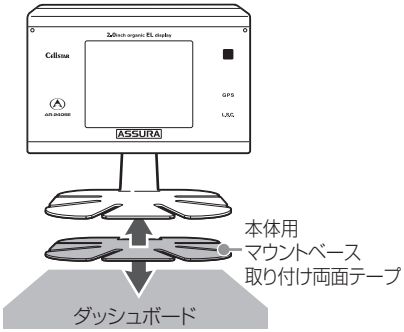
③ 向きを調整して、ネジをしっかりと固定します。



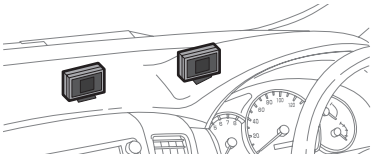
④ 本体用マウントベースを手で曲げて角度を調整します。



⑤ ダッシュボードに本体を取り付けます。

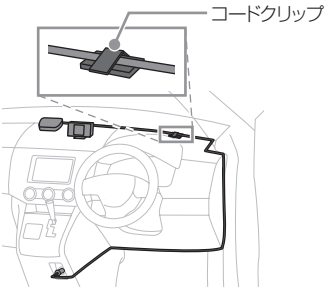


設 置 例



取り付け手順 ③：配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。
余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。
コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



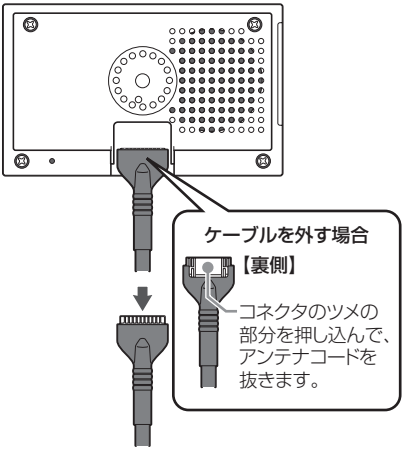
⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業を行ってください。
  また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。
  必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。
- コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- DC コードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DC コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。
  十分にご注意ください。

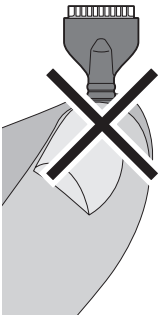
- 取り付けネジが走行中ゆるんだ場合には、再度しっかりと締めなおしてください。
  万が一、取り付けネジが外れて本製品または車などが故障したり事故などの原因となっても、弊社としては一切の責任を負いかねます。

アンテナコードの取り外し方

本体からアンテナコードを抜く場合には、必ずコネクタの部分を持って作業をおこなってください。
アンテナコードを持ったり、引っ張ったりすると、アンテナコードが断線する場合があります。



ケーブルを持って引っ張らないでください。

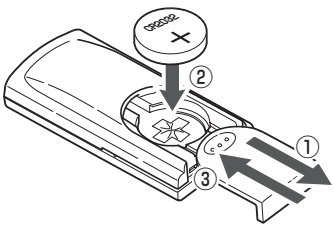


リモコンの取り付け方法

○リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池（CR2032）を使用します。初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池を装着してください。
また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

① 電池カバーを後ろにずらして外します。
② 電池を下図のように「＋」側を上にして、リモコンに納めます。
③ 電池カバーをはめ直します。



⚠ 警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。

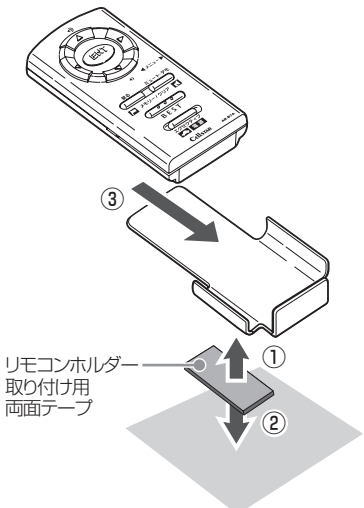
⚠ 注意

- 電池の「＋」「－」を逆に入れないでください。
- 長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池は、モニター用電池です。

○リモコンの取り付け

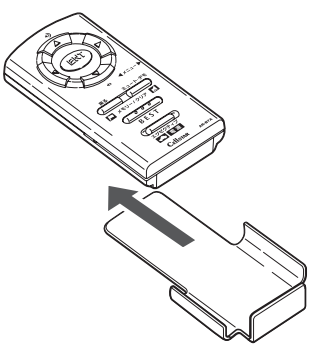
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

① リモコンホルダーとリモコン取り付け用両面テープを貼り付けます。
② リモコンホルダーを取り付け箇所に貼り付けます。
③ リモコンをリモコンホルダーに納めます。



○リモコンの取り外し

下図の矢印の向きにリモコンホルダーから取り外します。



microSD カードの使用方法

本製品では市販の microSD カードを使用して、本製品に内蔵している警告画面や待ち受け画面、またはスピーカーから出力される音声をお好みのものに差し替えることができます。

microSD カードによる待ち受け画面、警告画面や音声のカスタマイズについて

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

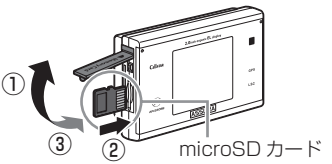
※ 本製品は SD 規格に準拠した FAT16 形式でフォーマットされた microSD カードが使用できます。
※ 本製品では、8MB ～ 1GB までの microSD カードが使用できます。
※ microSD™ は SD アソシエーションの商標です。

⚠ microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

- 本製品は、使用の誤り、静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。
  microSD カードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお薦めします。
  なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

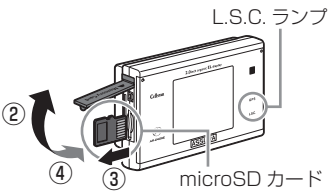
○microSD カードの挿入

① 本体左側面の microSD カードスロットカバーを開けます。
② microSD カードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込みます。
③ カバーを閉じます。

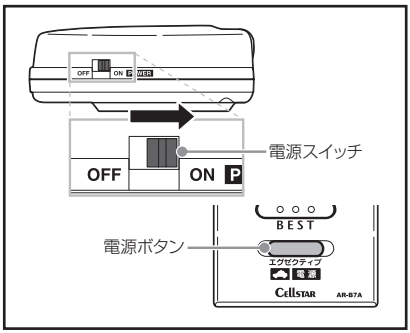


○microSD カードの取り出し

① 画面に「microSD カードを抜かないで下さい」と表示されていないことを確認してください。
② 本体左側面の microSD カードスロットカバーを開けます。
③ 挿入されている microSD カードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、microSD カードが排出されます。
④ microSD カードを取り出し、カバーを閉じます。



電源を入れる



1 **お車のエンジンを始動します。**

2 **アンテナ部の「電源スイッチ」を「ON」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。**

電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間中の案内や飲酒運転警告案内をお知らせします。

※ ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。

また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告案内はおこないません。

※ リモコンによる電源 ON 操作はリモコンにより電源 OFF した後、有効となります。

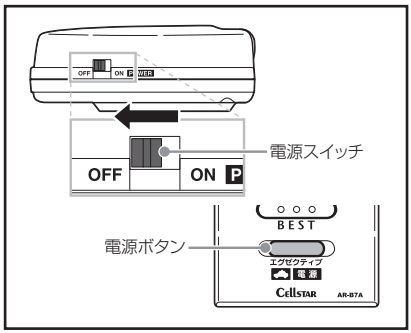
※ アンテナから本体に GPS 信号が届いていない場合、右の画面が「EL ディスプレイ」に表示されます。
アンテナと本体の接続を確認してください。

【参照 本製品の取り付け方法（☛9 ～ 14 ページ）】

⚠ お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（約 15 分程度）、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。
GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
GPS 測位が確定すると「♪**ピンポン、GPS を測位しました。**」とお知らせします。

電源を切る



1 **アンテナ部の「電源スイッチ」を「OFF」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。**

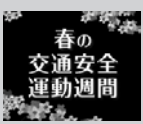
約 1 秒後緊急車両データベース画面が表示されますが、そのまま押し続けてください。

オープニング画面

通常時はシートベルト着用のお知らせをします。

飲酒運転警告案内の設定がONの場合、夜間に本製品の電源が入ったときにお知らせします。

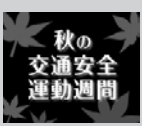
【参照 飲酒運転警告案内（41ページ）】



4月6日～4月15日※の春の交通安全運動週間にお知らせします。

※ 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。

9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。



EL ディスプレイの見方

本製品が起動すると、GPS 測位の確定後、待ち受け画面※1 を表示し、各種警告をおこなうたびに画面が切り替わります。

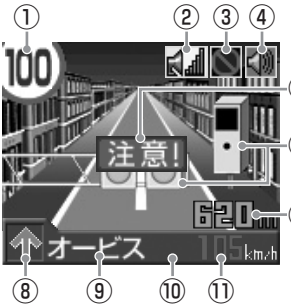
※ 1：待ち受け画面の表示については「○待ち受け画面の選択」（☛28 ～ 29 ページ）を参照してください。

待ち受け画面
（待ち受け画面設定：「オール1」の場合）

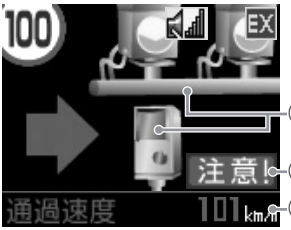
表示されるデータは目安としてご使用ください。

GPS警告画面
（昼間／高速道／オービスが右側に設置の場合）

取締機手前 約2キロ～約500m



取締機手前 約200m



① 制限速度
② レーダー波の受信レベル
③ 駐車禁止エリア内のときに表示
④ 音声出力の状態※2
　通常出力のときに表示
　EX エグゼクティブモードのときに表示
　ミュート（消音）時に表示
⑤ 制限速度超過のときに表示
⑥ カメラが設置された位置と取締機のイラスト※3
⑦ 取締機までの距離
⑧ 取締機のある方向
⑨ 取締機の種類
⑩ 道路種
（高速道：背景が緑色／一般道：背景が青色）
⑪ 走行速度
（制限速度内：白色／制限速度超：赤色で点滅）
⑫ 通過速度
（制限速度内：白色／制限速度超：赤色で点滅）

※ 2：本製品が microSD カードを認識しているときは、表示されるアイコンに「SD」の表示が加わります。
（ SD 通常出力／EX SD エグゼクティブモード／ SD ミュート）

※ 3：⑥のイラストは取締機の種類と設置された位置（道路の左／中央／右）によって変化します。

○昼夜画面表示機能

各種警告時のディスプレイ表示は、タイムディマー機能に合わせて表示が自動的に変わります。

【参照 タイムディマー機能（☛34 ページ）】

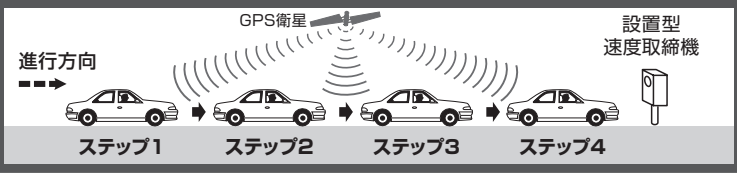
（例）Nシステム警告時のディスプレイ表示

GPS 警告動作例

○速度取締機（ループコイル、新 H システム、レーダー式オービス、LH システム、NH システム）または 信号無視監視機 の警告動作

4 ステップ GPS 警告（速度取締機の約 2 キロ手前から最大 4 回）でお知らせします。

首都高速、可変式、ループコイルの場合



ステップ1（約2キロ手前）

♪ピンポン、2キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに 注意してください。

距離　高速道路名称　可変式速度取締機識別　速度取締機識別

ステップ2（約1キロ手前）

♪ピンポン、1キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに 注意（してください）。

距離　高速道路名称　可変式速度取締機識別　速度取締機識別

制限速度、60キロ以下です。　危険です。スピード落として。

オービス制限速度警告　（走行速度が制限速度を超えている場合）

ステップ3（約500m手前）

♪ピンポン、500m先 首都高速 可変式 ループコイルに 注意してください。

距離　高速道路名称　可変式速度取締機識別　速度取締機識別

ステップ4（約200m手前）

♪ピンポン、カメラは 左側 です。通過速度は 60キロ以下です。

カメラ位置警告　通過速度警告

※距離のボイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。
※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。

⚠ 注意

- 通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点に計測した速度をお知らせします。
- GPS 測位による速度計測とお車のスピードメーターでは計測方法が違うため、同時点の計測であっても異なる場合があります。

GPS 警告時のディスプレイ表示

○ループコイル

車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

○新 H システム

レーダー波と異なった種類の電波を使用します。事前に「速度超過」などが速度警告板に表示され、それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。

○オービス

レーダー波（マイクロ波）を車両に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

○LH システム

車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。

○NH システム

通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレなどから走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。現在このNH システムは N システムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りをおこなう可能性があります。

○信号無視監視機

信号無視の取締まりを自動でおこないます。

○N システム

盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用する自動ナンバー読み取り装置です。

○取締りポイント

全国各地（高速道、一般道）での追尾式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれていた目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを取締りポイントとして登録しています。取締りポイントの約 1 キロ手前でお知らせし、走行速度が一定の速度より速い場合には約 500 m手前で再度注意を促します。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

○制限速度切り替わりポイント

DOWN
制限速度が下がるときに表示

UP
制限速度が上がるときに表示

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は「**スピードに注意してください。**」とボイスアシストします。

※ 標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

○事故多発エリア

警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

○警察署

緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、警察署への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

○交通警察隊

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通警察隊への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

○交通検問所

一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰め所に併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から引き込み路があり、検問所が常設されています。取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通検問所への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

○過積載監視システム

路面に設置された重量測定用の踏み板と道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

○急カーブ

急カーブがある場所をお知らせします。

○駐車禁止エリア

本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。しがたって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。駐車禁止エリア内では「EL ディスプレイ」の右上に マークを表示します。

※ 駐車禁止エリアは、一般道路上に対してお知らせします。

○道の駅

全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。

○ハイウェイオアシス

全国の高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。

○トンネル出口速度取締機

トンネルの出口付近に設置されている速度取締機をトンネルの手前でお知らせします。

○ユーザーポイント

ユーザーメモリー機能で登録されたポイントをお知らせします。約 1 キロ手前から 3 回警告をおこないます。

各種無線警告時のディスプレイ表示

⚠ 注意

各種無線（350.1MHz を除く）を連続的に受信すると、自動的に「EL ディスプレイ」表示のみの警告となります。

○カーロケーター

警察関係車両などに搭載され、GPS 信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。
カーロケーターを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。

1 回目の受信

※ カーロケーターの感度が「感度 Lo」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。
【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

ニアミスアラーム（連続受信）

連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

※ 一部地域では、カーロケーターシステムが配備されていない、もしくはシステムが異なるために受信することができない場合もあります。
※ 警察関連車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。

○350.1MHz

速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。
無線の会話を聞くことができます。

※ 350.1MHz 無線の受信は、電波の状態などによって受信状態が変わります。
※ 350.1MHz 無線の受信で、デジタル通信の場合は音声を聞くことはできません。
※ 350.1MHz 無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限ります。

○警察デジタル無線

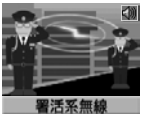
主に警察関係車両で本部との連絡用に使用される無線です。

※ 警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。

○警察活動無線

主に機動隊で連絡用として使用される無線です。

○署活系無線



警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

○ヘリテレ無線

事件や事故、またはヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。
無線の会話を聞くことができます。

※ 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

各種無線警告時のディスプレイ表示（つづき）

○レッカー無線

駐車違反や事故処理などで主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。
無線の会話を聞くことができます。

※ レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。
※ お車の走行速度が約 50km/h 以上の場合、レッカー無線は受信しません。

○消防無線

各消防署と消防関係車両などとの連絡に使用される無線です。

○消防ヘリテレ無線

山林火災、水災・地震などの災害や地上からの把握が困難な高層建物火災の発生時に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。
※ 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

○新救急無線

主に東京都内で使用される救急無線です。

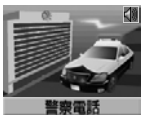
○取締特小無線

路上での取締り現場などで使用される無線です。

○JH 無線

日本道路公団（JH）のパトロール車輌と本部の間で使用される無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使用されています。
無線の会話を聞くことができます。

○警察電話



警察関連の自動車電話などで使用されています。

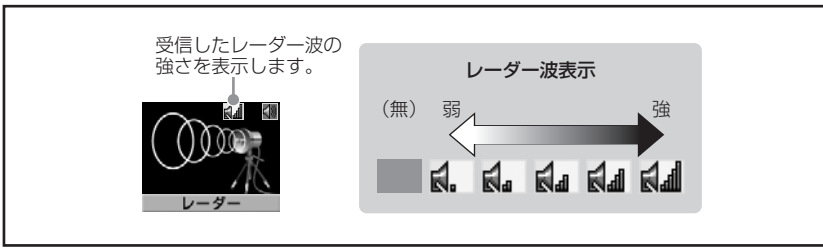
○警備無線

全国の各警備会社で使用される無線です。

○バリケードアラーム

検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、専用のバリケードアラームでお知らせします。

レーダー波警告時のディスプレイ表示

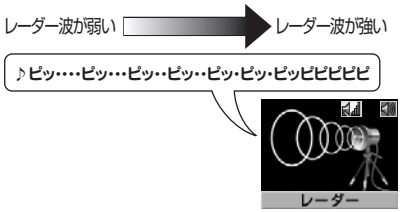


レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。

○レーダー警告

レーダー波を受信すると「EL ディスプレイ」とアラームでお知らせします。
レーダー波の強さが「EL ディスプレイ」の上部に表示されます。
また、レーダー波の強さに応じてアラームが変化します。（自動距離測定回路内蔵）

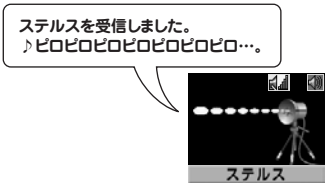
【参照 使用上の注意（☛4 ～ 5 ページ）】



※ レーダー警告がはじまってから約 30 秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

○ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、「EL ディスプレイ」とボイスアシストとアラームでお知らせします。



※ ステルスアラームがはじまってから約 10 秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

⚠ステルス波受信について

ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

○対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

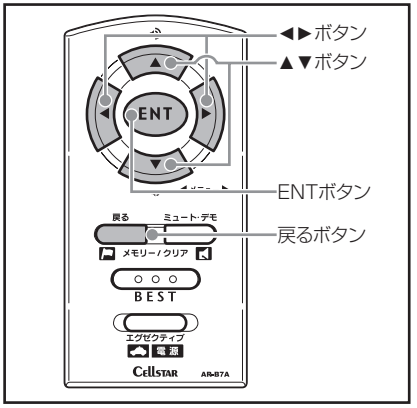
レーダー式速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下のときはレーダー警告のアラームを自動的にキャンセルします。

キャンセル中は
レーダー波の表示が
赤色になります。

MEMO

各種機能の設定一覧　※「マニュアルモード 1/2」選択時のみ設定可能です。

マニュアルモードであらかじめ設定されている内容をお好みで変更することができます。



1 「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、設定メニューから変更する機能を選びます。

※「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わります。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して、設定を確定します。

4 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、機能を選びます。

設定を終了して通常動作に戻る場合は「戻るボタン」を押します。

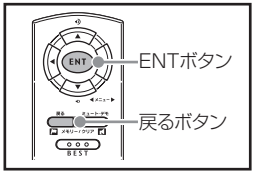
また何もボタンを押さなければ、約 15 秒後に自動的に通常動作に戻ります。

機　能	設定内容	説　明
取締機	オール ハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
N システム	オール ハイウェイ シティ 解除	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する 警告を解除する
取締りポイント		
制限速度切替り	オール 標準 解除	全てのポイントを警告する 制限速度が下がるポイントでのみ警告する 警告を解除する
オービス制限速度	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
通過速度		
事故多発エリア	オール ハイウェイ シティ 解除	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する 警告を解除する
警察署／交通警察隊		
交通検問所		
過積載取締機		
急カーブ		
駐禁エリア	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
道の駅／ ハイウェイオアシス	オール ハイウェイ シティ 解除	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する 警告を解除する
レーダー感度	オート エクストラ ウルトラ スーパー	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する 受信感度を「高」に固定する 受信感度を「中」に固定する 受信感度を「低」に固定する
L.S.C.	30km/h 以下 40km/h 以下 50km/h 以下 60km/h 以下 解除	時速 30 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 40 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 50 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 60 キロ以下の走行時に警告音をミュートする L.S.C. を設定しない

（ループ）

（ループ）

機　能	設定内容	説　明
カーロケ	感度 Hi 感度 Lo 解除	受信感度を 1 キロ範囲に広げる 受信感度を 500m 範囲に狭める カーロケを設定しない
350.1MHz	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
デジタル無線		
警察活動無線		
署活系無線		
ヘリテレ無線		
レッカー無線		
消防無線		
消防ヘリテレ無線		
救急無線		
取締特小		
JH 無線		
警察電話		
警備無線		
各種設定		

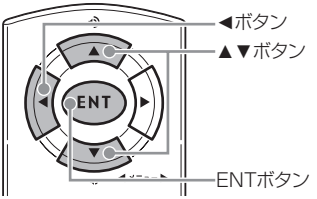


※「各種設定」を選択して「ENT ボタン」を押すと、下の表の設定メニューに移動します。
※ 下の表で「戻るボタン」を押すと、 上の表の設定メニューに戻ります。
※ ［　　］の機能は標準モード／オールモードでも設定を変更することができます。

（ループ）

機　能	設定内容	説　明
明るさ	明るい ふつう 暗い	「EL ディスプレイ」の輝度を最大にする 「EL ディスプレイ」の輝度を標準にする 「EL ディスプレイ」の輝度を最小にする
待受画面	オール 1 オール 2 オール 3 方位 月日・時間 1 月日・時間 2 月日・時間 3 月日・時間 4 月日・時間 5 緯度経度 1 緯度経度 2 緯度経度 3 緯度経度 4 ラン お気に入り スライドショー オフ	方位・月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面（画面：茶） 方位・月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面（画面：緑） 方位・月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面（画面：紫） 方位を表示する待ち受け画面 月日・時刻を表示する待ち受け画面（背景画面：1 ＜海＞） 月日・時刻を表示する待ち受け画面（背景画面：2 ＜夜景＞） 月日・時刻を表示する待ち受け画面（背景画面：3 ＜森＞） 月日・時刻を表示する待ち受け画面（背景画面：4 ＜山＞） 月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面 緯度・経度を表示する待ち受け画面（背景画面：1 ＜海＞） 緯度・経度を表示する待ち受け画面（背景画面：2 ＜夜景＞） 緯度・経度を表示する待ち受け画面（背景画面：3 ＜森＞） 緯度・経度を表示する待ち受け画面（背景画面：4 ＜山＞） 走行速度を表示する待ち受け画面 お好みの画像を表示する待ち受け画面 複数のお好みの画像を順次切り替えて表示する待ち受け画面 待ち受け画面を表示しない
SD メモリ	ファイル確認 ファイル読込み	microSD カードに保存されているファイルの名前を画面に表示する microSD カードに保存されているファイルを本製品に読み込む
スクリーンセーバー	オン オフ	スクリーンセーバーを表示する スクリーンセーバーを表示しない
飲酒運転警告案内	オン オフ	オープニング画面で飲酒運転警告を案内する オープニング画面で飲酒運転警告を案内しない
初期化	ユーザーポイント プリセットポイント レーダーキャンセルエリア スキップメモリ オールリセット	記録したユーザーポイントを全て消去する GPS 警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰する 記録したレーダーキャンセルエリアを全て消去する 記録したスキップメモリを全て消去する 各設定や記録内容を全消去し、工場出荷時に戻す

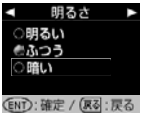
EL ディスプレイ表示の設定



○明るさ 3 段階調節機能

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「明るさ」を選びます。

マニュアルモード１／２の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「明るさ」を選びます。



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

○待ち受け画面の選択

待ち受け状態のときに表示される画面を選ぶことができます。

※ 方位の待ち受け画面は昼夜表示の選択をおこなうことはできません。

待ち受け画面として「お気に入り」または「スライドショー」を選んだ場合は、microSD カードに保存した画像ファイルを「EL ディスプレイ」に表示することができます。

microSD カードによる待ち受け画面の設定について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

http://www.cellstar.co.jp/sdcard/

待ち受け画面に表示されるデータは目安としてご使用ください。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「待受画面」を選びます。

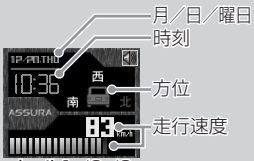
マニュアルモード１／２の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「待受画面」を選びます。

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

待ち受け画面例

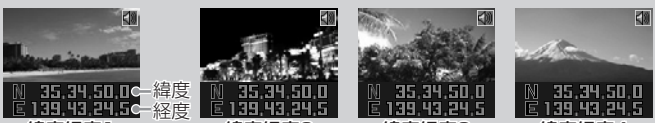


オール1／2／3

方位（昼の画面）

方位（夜の画面）

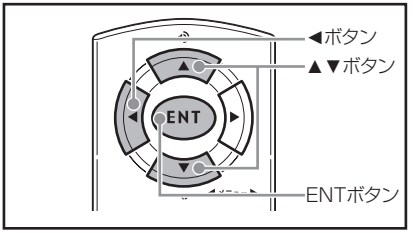
月日・時間1　月日・時間2　月日・時間3　月日・時間4　月日・時間5



緯度経度1　緯度経度2　緯度経度3　緯度経度4

ラン　お気に入り（例）　スライドショー（例）　オフ

EL ディスプレイ表示の設定（つづき）

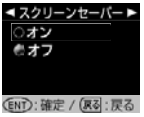


○スクリーンセーバーの ON/OFF 設定

待ち受け時間が約 1 分間経過すると、自動的にスクリーンセーバー機能を実行します。
※ 工場出荷時は設定が OFF になっています。

1 **オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「スクリーンセーバー」を選びます。**

マニュアルモード１／２の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「スクリーンセーバー」を選びます。



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。**

3 **「ENT ボタン」を押して設定を確定します。**

○スクリーンセーバーの解除

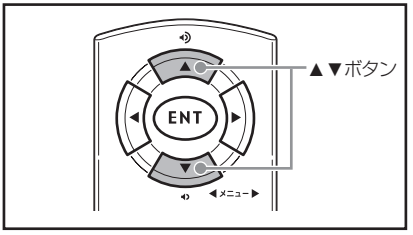
本機が警告動作をおこなったり、リモコンで音量調整などの設定操作をすると、一時的にスクリーンセーバーが解除されます。

操作例：リモコンの「BEST ボタン」を押すと、BEST セレクト機能画面が数秒間表示された後、待ち受け画面になります。

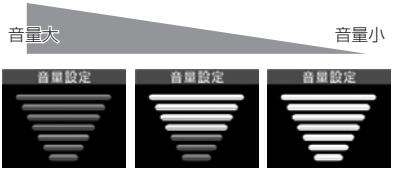
⚠「EL ディスプレイ」について

- 「EL ディスプレイ」で長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け※」が発生する可能性があります。これらは「EL ディスプレイ」の特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。
  （※焼き付けは完全に消すことはできません）
  スクリーンセーバーを使用したり「EL ディスプレイ」の明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。
  本現象の「EL ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- 「EL ディスプレイ」の中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。
  これらは「EL ディスプレイ」の特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。
  本現象の「EL ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- 「EL ディスプレイ」を太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。
  お車に設置する際には、ご注意ください。

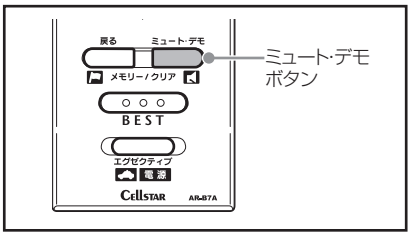
音量の調整



1 **「▲ ボタン」または「▼ ボタン」を押して音量を調整します。**

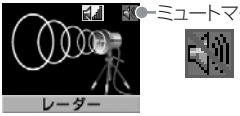


ミュート機能



レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音をミュート（消音）します。
※「EL ディスプレイ」と各ランプによる表示はおこないます。GPS 警告はミュートできません。

1 **警告動作中に「ミュート・デモボタン」を押します。**
ミュート中は「EL ディスプレイ」の画面右上にミュートマークが表示されます。



各種無線を受信中の場合

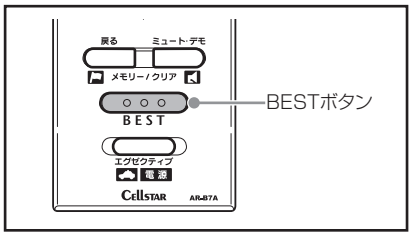
- ミュート中に約 120 秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ミュート中に再度受信した場合、約 120 秒間ミュート機能が延長されます。

レーダー警告中の場合

- ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ ミュートの動作中に「ミュート・デモボタン」を再度押すと、ミュートが解除されます。

BEST セレクト機能



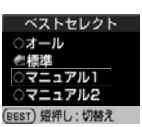
簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」と、自由に設定変更ができる「マニュアルモード 1」「マニュアルモード 2」の 4 つを切り替えることができます。

オールモード	標準モード（工場出荷時）
全ての機能が ON になっています。	ベストセレクトされた機能が ON になっています。

マニュアルモード 1	マニュアルモード 2
初期設定が高速道向けに設定されています。	初期設定が一般道向けに設定されています。
お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。	

○BEST セレクト機能の切り替え

1 **「BEST ボタン」を押します。**
現在の設定モードをお知らせします。



2 **再度「BEST ボタン」を押すと設定モードが切り替わります。**
押すたびに設定モードが切り替わります。
※「マニュアルモード 1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

○設定チェック機能

1 **「BEST ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**
「**ベストセレクト**○○」の後に、各機能の設定内容をボイスガイドと「EL ディスプレイ」でお知らせします。
※ お知らせ中に、「BEST ボタン」を押すと終了します。

BEST セレクト機能（つづき）

各モードの設定内容（マニュアルモードは初期設定の内容）

【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

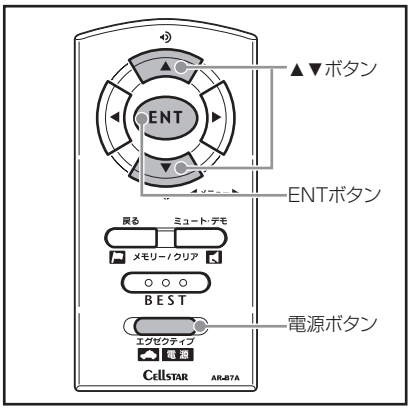
	オールモード	標準モード	マニュアルモード 1	マニュアルモード 2
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ
N システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
取締りポイント	オール	オール	ハイウェイ	シティ
制限速度切り替わりポイント	オール	標準	標準	標準
オービス制限速度警告	設定	設定	設定	設定
通過速度警告	設定	設定	設定	設定
事故多発エリア	オール	解除	解除	解除
警察署／交通警察隊	オール	解除	解除	解除
交通検問所	オール	オール	ハイウェイ	シティ
過積載監視システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
急カーブ	オール	解除	解除	解除
駐車禁止エリア	オール	解除	解除	解除
道の駅／ハイウェイオアシス	オール	解除	解除	解除
レーダー感度	オート	オート	オート	オート
L.S.C.	30km/h 以下	30km/h 以下	50km/h 以下	30km/h 以下
カーロケーター	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi
350.1MHz	設定	設定	設定	設定
警察デジタル無線	設定	設定	設定	設定
警察活動無線	設定	解除	解除	解除
署活系無線	設定	解除	解除	解除
ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
レッカー無線	設定	解除	解除	解除
消防無線	設定	解除	解除	解除
消防ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
新救急無線	設定	解除	解除	解除
取締特小無線	設定	解除	解除	解除
JH 無線	設定	解除	解除	解除
警察電話	設定	解除	解除	解除
警備無線	設定	解除	解除	解除
明るさ	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう
待ち受け画面	オール 1	オール 1	オール 1	オール 1
スクリーンセーバー	オフ	オフ	オフ	オフ
飲酒運転警告案内	オン	オン	オン	オン

※ ［　　］の項目は変更できません。
※ 本製品の電源が OFF になっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。

⚠ 注意

設定が「標準モード」「オールモード」の場合、設定は固定されています。各機能の設定を個別に変更することはできません。お好みの設定に変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード 1」または「マニュアルモード 2」に切り替えてください。

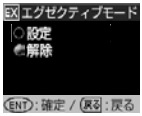
エグゼクティブモード



レーダー受信時／GPS 警告時／無線受信時にボイスアシスト（音声）を出力せず、警告音と「EL ディスプレイ」表示だけで注意を促します。
ボイスアシストだけをミュート（消音）したい場合にご使用ください。

○エグゼクティブモードの ON/OFF 設定

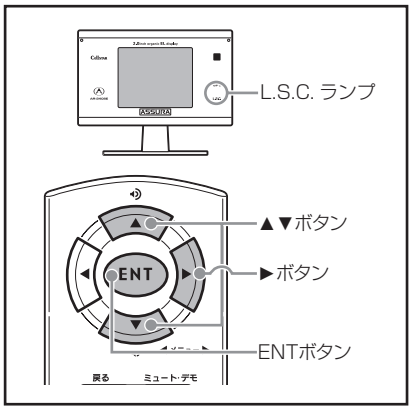
1 「電源ボタン」を押します。



2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

L.S.C. 機能の動作



GPS 測位中、お車の低速走行や停止時にレーダー警告音を自動的にミュート（消音）します。
※ GPS 測位していない場合は、L.S.C. 機能は解除され、「L.S.C. ランプ」は橙色に点灯します。

L.S.C.	お車の走行状態	警告音	「L.S.C. ランプ」
ON	L.S.C. 設定速度以上の走行時	あり	緑色
	L.S.C. 設定速度以下の走行時	なし（ミュート）	赤色
OFF	―	あり	橙色

○L.S.C. 機能の切り替え

（L.S.C. 機能の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。）

1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「L.S.C.」を選びます。

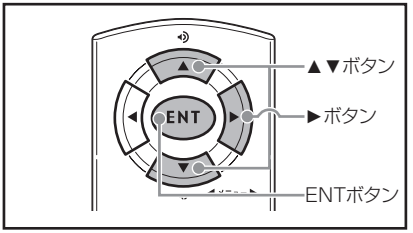
【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

30km/h 以下	時速 30 キロ以下のときに警告をミュート
40km/h 以下	時速 40 キロ以下のときに警告をミュート
50km/h 以下	時速 50 キロ以下のときに警告をミュート
60km/h 以下	時速 60 キロ以下のときに警告をミュート
解除	L.S.C. を設定しない

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

レーダー波受信感度オートの動作



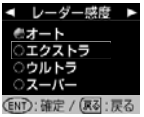
レーダー波の受信感度を、お車の走行速度に合わせて自動で切り替えます。

お車の走行状態	受信感度
時速 約 50 キロ以上	エクストラ .....（高感度）
時速 約 50 ～ 30 キロ	ウルトラ .....（中感度）
時速 約 30 キロ未満	スーパー .....（低感度）
GPS サーチ中、GPS 機能停止	エクストラ固定

○レーダー感度の切り替え

（レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。）

1 **「▶ ボタン」を押して設定メニューから「レーダー感度」を選びます。**



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。**

オート	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する
エクストラ	受信感度を「高」に固定する
ウルトラ	受信感度を「中」に固定する
スーパー	受信感度を「低」に固定する

3 **「ENT ボタン」を押して設定を確定します。**

オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約 30 秒後、またはステルスアラームが始まってから約 10 秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。
※ 設定は不要です。

タイムディマー機能

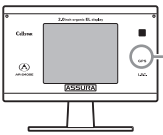
GPS 時刻情報を利用し、夜間の暗い時間帯に各ランプと「EL ディスプレイ」を暗くします。

時期	タイムディマー機能の動作時間帯
4 月～ 10 月	18：00 ～ 05：00
11 月～ 3 月	17：00 ～ 06：00

レシーバーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。
※ 350.1MHz はミュートされません。
※「EL ディスプレイ」による表示はおこないます。
※ 設定は不要です。

GPS 測位について



GPS を利用した機能を使用するために、GPS の測位確定が必要となります。

本製品の電源が入ると、自動的に GPS 測位が始まり、GPS 測位が確定するまで「GPS ランプ」が点滅します。
GPS 測位が確定すると「♪**ピンポン、GPS を測位しました。**」とお知らせします。

○GPS 測位状態の確認

「EL ディスプレイ」と「GPS ランプ」で測位状態が確認できます。

測位状態	「EL ディスプレイ」	「GPS ランプ」
GPS サーチ中	ー	点滅
測位不可時	GPS 未測位	点滅
測位中	ー	点灯

○GPS を利用した主な機能

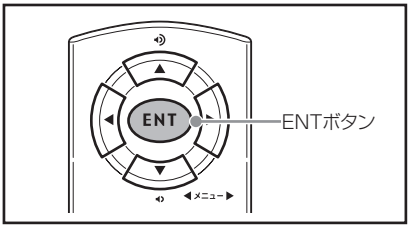
- GPS 警告
  - 速度取締機（4 ステップ GPS 警告）
  - N システム
  - 取締りポイント
  - 制限速度切り替わりポイント
  - オービス制限速度警告
  - 通過速度警告
  - カメラ位置警告
  - 事故多発エリア
  - 警察署／交通警察隊
  - 交通検問所
  - 過積載監視システム
  - 急カーブ
  - 駐車禁止エリア
  - 道の駅／ハイウェイオアシス
- 対向車線レーダー警告オートキャンセル機能
- L.S.C. 機能
- レーダー波受信感度オート切り替え機能
- ユーザーメモリー機能
- レーダーキャンセルメモリー機能
- GPS 警告ポイント消去
- タイムディマー機能
- 1 キロ圏内サーチ機能
- 通過速度履歴確認機能
- 昼夜画面表示機能
- 全国交通安全運動週間の案内
- 飲酒運転警告案内

⚠お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（約 15 分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどでは GPS 測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS 機能を使用するには、GPS 測位中に限られます。
- 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品の GPS 測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

スキップ機能

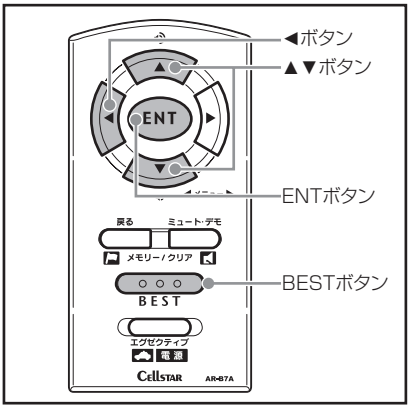
○ワンスキップ



受信中の無線を一回だけスキップ（強制終了）することができます。

1 **受信中に「ENT ボタン」を押します。**
「♪**ピッ**」と鳴り、警告表示や受信音を強制終了します。

○スキップメモリー



各種無線のうち、特定のチャンネルを最大 253 チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。
※ カーロケと 350.1MHz はスキップできません。

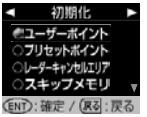
1 **スキップしたい無線の受信警告動作中に「BEST ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**
操作結果をボイスガイドでお知らせします。

※ 電源を OFF にしても、記録されたスキップメモリーは保持されます。

○スキップメモリーの全消去

※ 個別での消去はできません。一括での消去となります。

1 **オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。**
マニュアルモード１／２の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▼ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。

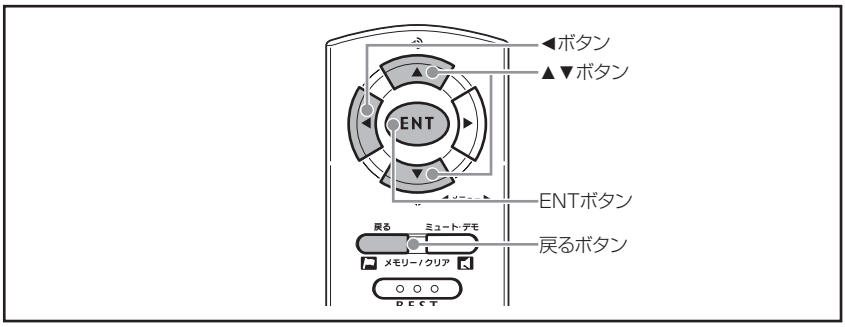


【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「スキップメモリ」を選びます。**
「**スキップメモリー、スキップメモリー…**」と繰り返しアナウンスされます。

3 **「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**
これでスキップメモリーが全て消去されました。

ユーザーメモリー機能



新規にお知らせしたいポイントを最大 100 箇所記録して、約 1 キロ手前から 3 回警告をおこなうことができます。
この機能を使用することで、新設された取締機の位置の記録や注意したい地点の記録をおこない、方向識別をして GPS 警告を出すことができます。
※ 記録するには約 1 キロ以上走行している必要があります。
※ 100 箇所を越えると、100 箇所目のポイントに上書きします。

○ユーザーポイントの記録

1 **記録したいポイントの場所で「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

「♪**ピンポン**」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒かかります。

結　果	ボイスガイド
ポイント記録成功	**♪ピンポン、ユーザーポイント記録しました。**
ポイント記録失敗（GPS が測位できない）	**♪ピンポン、GPS を測位できません。**
ポイント記録失敗（走行データなし）	**♪ピンポン、ユーザーポイント記録できません。**

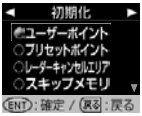
○ユーザーポイントの個別消去

1 **設定したユーザーポイントの GPS 警告動作中に「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

操作結果をボイスガイドでお知らせします。

○ユーザーポイントの全消去

1 **「オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。（手順 3 へ進みます。）**
マニュアルモード 1 ／ 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 **「ユーザーポイント」が選択されていることを確認します。**

「**ユーザーポイント、ユーザーポイント…**」と繰り返しアナウンスされます。

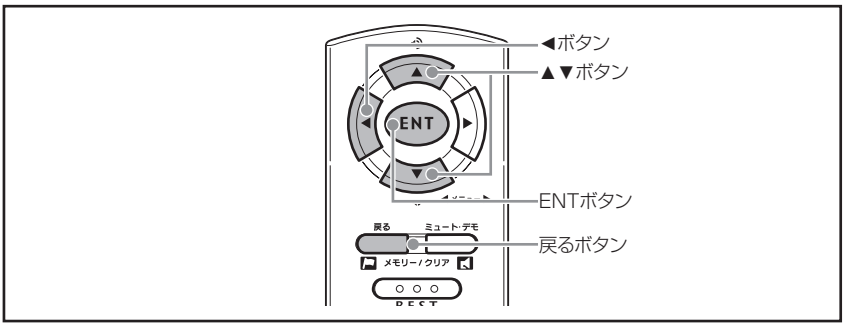
3 **「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

これでユーザーポイントが全て消去されました。

⚠ 注意

ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

GPS 警告ポイント消去機能



本製品に登録されている、速度取締機／ N システム／取締りポイント／制限速度切り替わりポイント／事故多発エリア／警察署／交通検問所／過積載監視システム／急カーブ／駐車禁止エリア／道の駅 などの GPS 警告を消去することができます。
この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。

○GPS 警告ポイントの消去

1 **消去したいポイントの GPS 警告動作中に「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

「♪**ピンポン**」と鳴り、消去を始めます。

その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

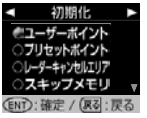
○GPS 警告消去ポイントの全復帰

GPS 警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰します。

※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

1 **オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。**

マニュアルモード 1 ／ 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

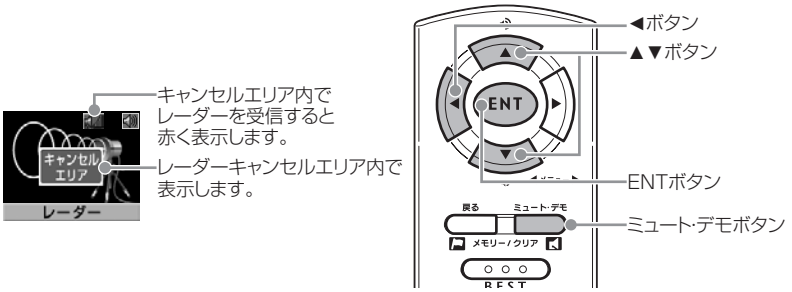
2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。**

「**プリセットポイント、プリセットポイント…**」と繰り返しアナウンスされます。

3 **「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

これで GPS 警告ポイントが全て復帰しました。

レーダーキャンセルメモリー機能



レーダー警告音が必要ないと思われるエリアの半径約 200m 圏内で、レーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。
※ 最大で 100 箇所のポイントをキャンセルできます。

○レーダーキャンセルエリアの記録

1 **消去したいエリアでのレーダー警告中に「ミュート・デモボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

「♪**ピンポン**」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒かかります。

結　果	ボイスガイド
エリア記録成功	**♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録しました。**
エリア記録失敗（GPS が測位できない）	**♪ピンポン、GPS を測位できません。**
エリア記録失敗（その他の理由）	**♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録できません。**

○レーダーキャンセルエリアの確認

「EL ディスプレイ」でエリア内であるかどうかを確認できます。

レーダー波受信	「EL ディスプレイ」
あり	レーダーの受信レベルが表示されます。 キャンセルエリア レーダー
なし	アイコンが表示されません。 キャンセルエリア レーダー

○レーダーキャンセルエリアの個別消去

1 **消去したいレーダーキャンセルエリア内で「ミュート・デモボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

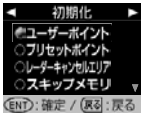
「♪**ピンポン**」と鳴り、消去を始めます。

その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

○レーダーキャンセルエリアの全消去

1 **オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。**

マニュアルモード 1 ／ 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

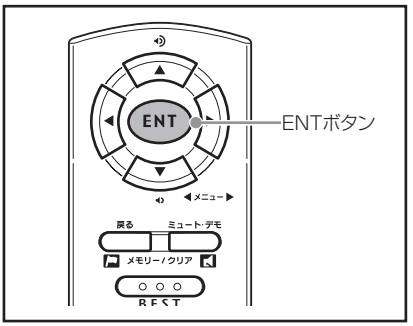
2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。**

「**レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…**」と繰り返しアナウンスされます。

3 **「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

これでレーダーキャンセルエリアが全て消去されました。

通過速度履歴確認機能

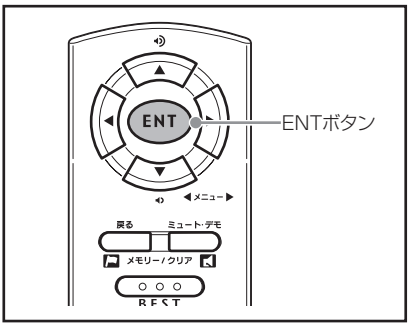


速度取締機を通過したときの通過速度をボイスガイドと「EL ディスプレイ」で確認することができます。
※ 確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度 1 件のみとなります。

1 **「ENT ボタン」を押します。**
ボイスガイドと「EL ディスプレイ」で前回の通過速度をお知らせします。

※ 通過速度警告が OFF の場合でも、通過速度のデータは保存されているので確認することができます。
【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】
※ 本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。

1 キロ圏内サーチ機能



現在地から半径約 1 キロ圏内に速度取締機またはユーザーポイントがあるかどうかを検索することができます。

1 **「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**
「**♪ピッ、サーチします。**」と鳴り、サーチがはじまります。

---

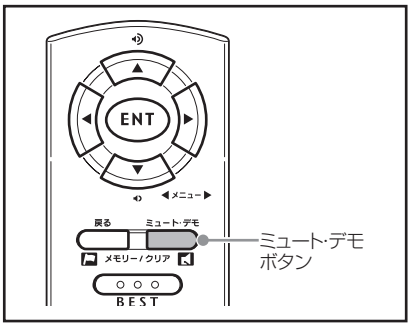
2 **「EL ディスプレイ」とボイスガイドで結果をお知らせします。**

結　果	ボイスガイド
設置あり	**♪ピンポン、1 キロ以内 東名高速可変式 ループコイルに注意してください。**
設置なし	**♪ピンポン、ポイント ありません。**
GPS が測位できない	**♪ピンポン、GPS を測位できません。**

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒かかります。

※ 半径約 1 キロ圏内に複数ポイントがある場合は、最も近いポイント 1 箇所についてお知らせします。

デモンストレーション



本製品の警告動作などをデモンストレーションします。音量の調整をする際に使用すると便利です。

【参照 音量の調整（☛30 ページ）】
※「EL ディスプレイ」の表示もおこなわれます。

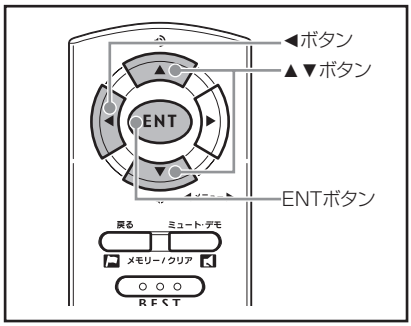
1 **本製品が警告動作をおこなっていないときに「ミュート・デモボタン」を押します。**

2 **デモンストレーション中に、再度「ミュート・デモボタン」を押すとデモンストレーションが終了します。**

⚠ 注意

- デモンストレーションの内容は固定です。この機能では現在の設定状態は確認できません。
- デモストレーション中は警告動作をおこないません。

飲酒運転警告案内

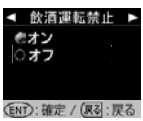


本製品の電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告する案内を表示します。（夜間に限ります。）

【参照 電源を入れる（☛17 ページ）】

1 **オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「飲酒運転警告案内」を選びます。**

マニュアルモード１／２の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「飲酒運転警告案内」を選びます。

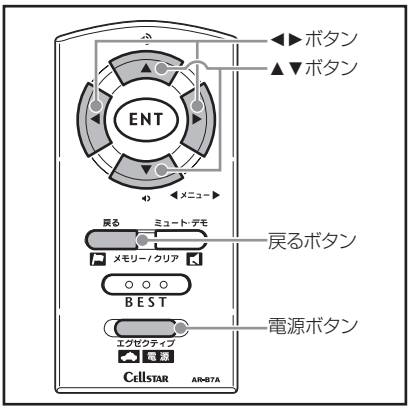


【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。**

3 **「ENT ボタン」を押して設定を確定します。**

緊急車両データベース



緊急車両（覆面パトカー）のナンバーと車種を「EL ディスプレイ」に表示することができます。

1 **「電源ボタン」を約 1 秒間押します。**

緊急車両のナンバーをリスト表示します。
他の地域のリストを表示する場合は「◀ ボタン」または「▶ ボタン」を押します。

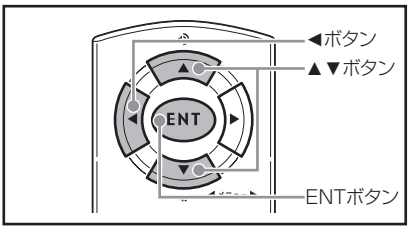
2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押すと、選択したナンバーの車種を画面下部に表示します。**

3 **「戻るボタン」を押して通常画面に戻ります。**

⚠ 注意

- 緊急車両のナンバーをリスト表示している間は、全ての警告動作をおこないません。
- 緊急車両データベースは当社独自調査によるデータベースのため、全ての緊急車両が登録されているわけではありません。
- 自動的に緊急車両を認識したり、走行している緊急車両を探知する機能ではありません。

本製品の全リセット

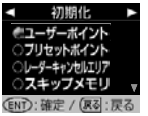


この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。

【参照 BEST セレクト機能（☛31 ～ 32 ページ）】

1 **オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。**

マニュアルモード 1 ／ 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照 各種機能の設定一覧（☛26 ～ 27 ページ）】

2 **「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。**

「**オールリセット、オールリセット…**」と繰り返しアナウンスされます。

3 **「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。**

これで全リセットが完了しました。

⚠ 注意

全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

MEMO

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症　状	チェック内容	参照ページ
電源が入らない	DC12V または 24V が入力されていますか。	9 ～ 10、12
	本体と DC コードが外れていませんか。	9 ～ 10、12
機能の設定ができない	「マニュアルモード」に設定されていますか。	31 ～ 32
GPS 信号を受信しない	GPS 信号は受信可能ですか。	11 ～ 12、35
速度取締機の警告をしない	GPS 信号は受信可能ですか。	11 ～ 12、35
	登録されていない速度取締機の可能性があります。	4 ～ 5、37、46
	取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。	26 ～ 27
	GPS 警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	38
GPS 警告をしない	設定が「解除」になっていませんか。	26 ～ 27
	登録されていないポイント（エリア）の可能性があります。	4 ～ 5、37、46
制限速度切り替わりポイントの GPS 警告をしない	制限速度切り替わりポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	26 ～ 27
何もないのにレーダー警告音が鳴る	速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。 その場合、レーダー警告を出す場合があります。 これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 －同じ電波を使用している機器例－ ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTT の通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部 －対処療法－ レーダーキャンセルメモリー機能	39
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。	37
	反対方向などから走行していませんか。	37
L.S.C. 機能が働かない	L.S.C. 機能は ON になっていますか。	26 ～ 27、33
EL ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	EL ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。	
EL ディスプレイに表示跡や色むらがある	EL ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。	

故障かな？と思ったら（つづき）

症　状		チェック内容	参照ページ
無線を受信しない		受信設定が「解除」になっていませんか。	26～27
		無線は常に発信されているわけではありません。	4～5、 22～23
	カーロケーターを受信しない	カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。	4～5、22
		カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。	22
	350.1MHz を受信しない	デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。	4～5、22
		350.1MHz の受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合があります。	4～5、22
	レッカー無線を受信しない	本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。	4～5、23
		走行速度が約 50km/h 以上で走行していませんか。	23
レッカー無線以外の業務無線を受信する		レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	4～5、23、 36
各種無線を受信したままになる		お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。 －対処方法－ ・ワンスキップ ・スキップメモリー	 36 36
EL ディスプレイに「GPS エラー」と表示される		アンテナコードの接続を確認してください。 当社カスタマーサービスへお問い合わせください。	9～14、47

保証書について

●保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から 1 年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
（保証書に販売店名､日付印がないと無効になります）

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

- EL ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出ても、保証対象になりません。
- 焼き付けや色むらなどによる EL ディスプレイの修理は保証対象になりません。

●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては
当社ホームページでご確認いただけます。
http://www.cellstar.co.jp/

データ更新について

本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを 1 年に 2 回を目安として更新用データを作成しております。
データの更新を希望される場合は、お買い求めになった販売店、当社カスタマーサービスまでご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

データ更新の受付については、製品の仕様や更新用データの都合などにより、データ更新の受付を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

【データ更新を依頼される場合】
データ更新作業をおこなう間、本体をお預かりいたします。
また、更新料￥5,250（税込）と、送料が別途必要です。

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご依頼ください。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がございましたら、当社カスタマーサービスまたは、e- メールなどでお知らせ頂いただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス 0120-75-6867

（携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867）

e- メール ： ranavi@cellstar.co.jp ／ ホームページ : www.cellstar.co.jp

※ 携帯電話などから e- メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

■北 海 道 地 区　TEL.011-882-1225（代）　FAX.011-881-7251
北海道セルスター工業株式会社　〒004-0843　札幌市清田区清田三条 1-3-1

■東 北 地 区　TEL.022-218-1100（代）　FAX.022-218-1110
セルスター工業（株）仙台営業所　〒981-3117　宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158

■関 東 地 区　TEL.046-273-1100（代）　FAX.046-273-1106
セルスター工業（株）関東営業所　〒242-0002　神奈川県大和市つきみ野 7-17-32

■中部・北陸地区　TEL.052-798-6325（代）　FAX.052-798-6315
中部セルスター工業株式会社　〒463-0021　愛知県名古屋市守山区大森 4-1002

■関西・中国・四国地区　TEL.072-722-1880（代）　FAX.072-722-5575
関西セルスター工業株式会社　〒562-0004　大阪府箕面市牧落 3-8-7

■九 州 地 区　TEL.092-552-5252（代）　FAX.092-552-5300
九州セルスター工業株式会社　〒811-1347　福岡県福岡市南区野多目 1-11-8

■セルスター工業株式会社
カスタマーサービス　フリーダイヤル 0120 − 75 − 6867　TEL 046-275-6867
〒242-0002　神奈川県大和市つきみ野 7-17-32

● 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

仕様・定格

本体

EL ディスプレイ

表　示　方　式：フルカラー有機 EL（2 インチ、160 × 128 ドット、約 26 万色）

電　源　電　圧：DC12V/24V
動作温度範囲：－ 10℃～＋ 65℃
本　体　サ　イ　ズ：85（W）× 19.5（D）× 52（H）mm（突起物含まず）

アンテナ

GPS 受信部

受　信　方　式：16ch パラレル受信
受信周波数：1575.42MHz

レーダー受信部

受　信　方　式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：X バンド、K バンド

レシーバー部

受　信　方　式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：UHF　330 ～ 470MHz 帯、VHF　154 ～ 162MHz 帯

本　体　サ　イ　ズ：81.5（W）× 69（D）× 25.5（H）mm（突起物含まず）

リモコン

使　用　電　池：リチウム電池 /CR2032
動作温度範囲：－ 10℃～＋ 65℃
本　体　サ　イ　ズ：32.5（W）× 13（D）× 66（H）mm（突起物含まず）

約 14,300 件、23 種類の高精度 GPS データを搭載
・制限速度切り替わりポイント.....約 950 箇所
・取締りポイント.....約 2,800 箇所
・事故多発エリア.....約 1,750 箇所
・警察署.....約 1,530 箇所
・オービス制限速度.....約 720 箇所
・速度取締機（7 種類）.....約 720 箇所
・N システム.....約 1,900 箇所
・その他.....約 3,930 箇所

※ 改良などのため、本製品の仕様･定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員 ―――――――――――――――――――――http://www.cellstar.co.jp
CellSTAR® セルスター工業株式会社
〒242-0002　神奈川県大和市つきみ野7-17-32　TEL.046-273-1100（代）　FAX.046-273-1106
PP-D286MN 2007.5